

地方経済情報 Weekly No.319

渋滞損失から「時間価値」を考える

1. 熊本県下での渋滞損失

日常生活や事業活動に大きな影響を及ぼす渋滞は、経済的な損失にも直結します。特に熊本市においては、主要渋滞箇所数と平均速度は、全国の政令指定都市（大阪市・名古屋市を除く）の中でワースト1位となっています。1人当たりの渋滞損失を金額換算すると、熊本県民で年間約13~17万円、熊本市民では更に大きく年間約17~24万円と試算されました。

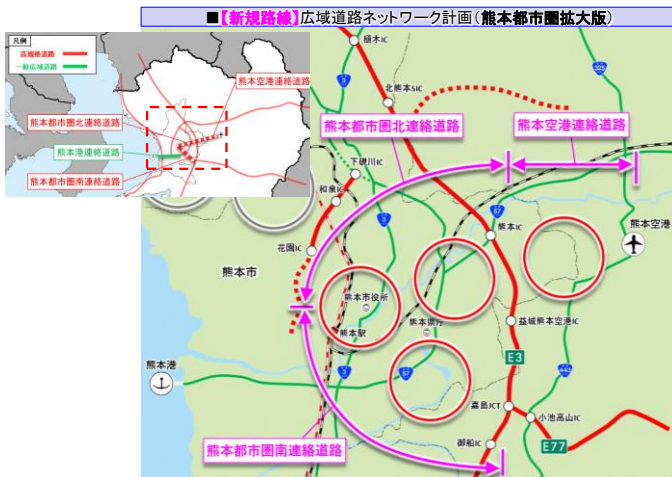
2. 渋滞解消と地域経済活性化への大きな期待

そのような中、熊本県・熊本市は2021年6月に発表した「熊本県新広域道路交通計画」の中で、市中心部から高速道路ICまで約10分、熊本空港まで約20分で結ぶ「10分・20分構想」を掲げています（図表1）。学識者および経済界で構成される「熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会」が昨年12月に実施した県民向けアンケートでは、本構想に期待する効果として「渋滞緩和、移動時間短縮」を挙げた住民が約9割に上っています（図表2）。他にも「観光促進」や「ビジネスの活性化」など、経済活性化に関する期待が3~4割を占めています。

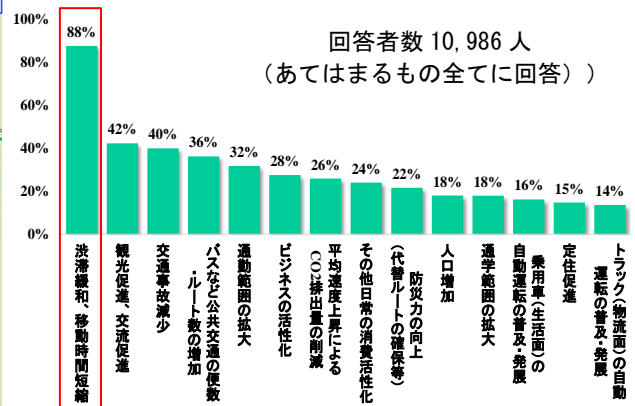
3. 時間価値を見つめ直し経営改善へ

本構想実現による県下への経済波及効果は、年間約1,500億円と算出されました（図表3）。最近では、「時間」はヒト・モノ・カネ・情報に続く経営資源であるとも言われています。本構想をきっかけに、自社にとっての「時間価値」を今一度見つめ直しははいかがでしょうか。

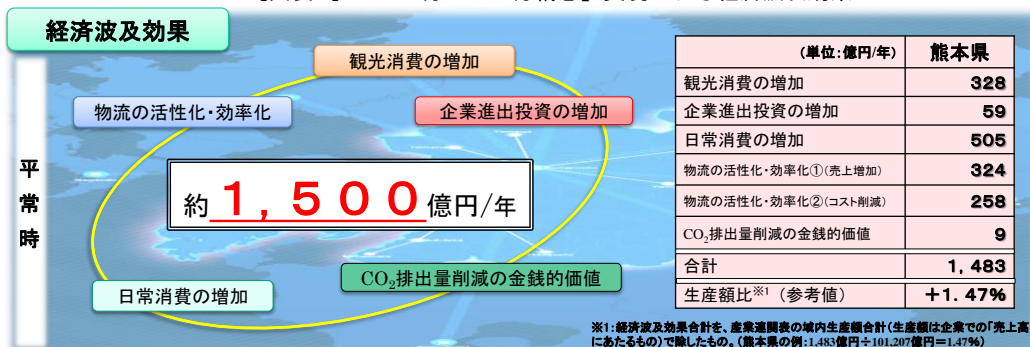
【図表1】「10分・20分構想」の概要



【図表2】「10分・20分構想」に期待すること



【図表3】「10分・20分構想」実現による経済波及効果



(図表1) 資料: 熊本県・熊本市「熊本県新広域道路交通計画」(2021年6月)

(図表2~3) 資料: 熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会報告書

担当: 主任研究員 嶋田